

BULLETIN



# Y's Men's Club of MISHIMA

No.565  
2024 12月

強調：キリスト教理解・IBC

例会日：毎月第3火曜日 18:30～20:30  
例会場：お食事処 松韻 三島市中田町1-16 ☎055-973-2678

三島ワイズメンズクラブ  
CHARTERED OCTOBER 7.1977

会長 渡邊 近子 副会長 福田 淑子 書記 相川 毅 会計 石川 敏也

主題 三島クラブ会長主題：メンバーが一丸となる 国際会長：太陽の輝きと笑顔(チャーミング・シェン：台湾) アジア太平洋地域会長：大きなインパクトを起こそう(ジョウン・ウオン：香港) 東日本区理事：ワイズの方向性を見極める(山田公平：宇都宮) 富士山部部長：たゆたえども沈まず(相磯優子：沼津)

今月のことば

「さあ、ベツレヘムへ行こう。」 ルカによる福音書2章15節

これは、野原にいた羊飼いたちが、天使の「嬉しい」お告げを聞いた後、「じゃ、行ってみよう!」と言って、行動を起こした時の言葉です。この言葉は、「人の喜びを自分の喜びにして駆け付ける」。そんな気持ちの大切さを、考えさせてくれます。

2024年12月定例会：12月17日(火) 18:30～ 会場／松 韻 (三島市中田町1-16 ☎055-973-2678)

受付：大村 俊之 Y's / 司会：石川 敏也 Y's

Happy Birthday

12/4：相川 Ys  
12/11：渡邊 P

Happy Anniversary

該当者なし

- \* 開会点鐘 会長 渡邊 近子 Y's
- \* 開会挨拶 岡田美喜子 Y's
- \* ワイズソング斉唱 出席者一同
- \* ワイズの信条 司会
- \* 会長挨拶 会長 渡邊 近子 Y's
- \* ゲスト・ビジター紹介 会長 渡邊 近子 Y's
- \* 誕生日・結婚記念日祝 親睦委員会
- \* 食前の感謝 福田 淑子 Y's
- \* 会 食 おしゃべり談義
- \* 書記・委員会報告 書記及び各委員会担当
- \* スマイル・出席率報告 親睦・プロドラ委員会
- \* 閉会挨拶 相川 毅 Y's
- \* 閉会点鐘 会長 渡邊 近子 Y's



## 11月の例会報告

親睦・DBC 委員長 日吉 和代

11月19日(火)定刻より少し早く全員集合。大村メネット、卓話者の前田様と江塚課長を迎え、福田ワイズの司会進行で開催されました。

今回の卓話は「三島駅南口東街区再開発事業」について。三島市計画づくり部三島駅周辺整備推進課 前田耕作氏の卓話が始まりました。念願であった三島駅の都市開発で新しい町づくりが始まり、令和9年に竣工とのこと。いろいろと話を聞いていくうちに、本当に素晴らしい町づくりが始まっていることが実感できました。4年後、新しい町に足を踏み入れることが出来るかどうか、この年寄りには未知ですが、町を散策して楽しみたい気持ちでいっぱいです。

レストラン、保育園、ホテル、オフィス、医療、スーパー、市民の住宅、それにつながる大きな駐車場、と全てが取り入れられた素晴らしい三島駅開発が完成する様子が目に見えるようです。早く完成してほしいです。

卓話終了後、会食・スマイル・雑談・委員会報告を終え、出席率100%で例会が終了しました。



2024年12月 第6回 役員会議事録

日時:2024年12月3日(火) 19:00~20:30  
 場所:大村俊之様邸  
 出席:7名中7名(渡邊会長○、福田副会長○、相川書記○、石川会計○、大村○、岡田○、日吉○) 計7名

各種報告事項

<11月行事等>

- 11/05火 19:00~ 第5回役員会(6名:渡邊会長欠席)
- 11/14木 15:00~ 花壇 花植ボランティア活動  
 渡邊・日吉・大村・相川・大村M メンバー4名・メネット1名
- 11/19火 18:30~ 三島クラブ11月例会@松韻 メンバー7名・メネット1名・ゲスト2名 メネット:大村メネット  
 ゲスト:三島市三島駅周辺整備推進課 江塚様・前田様  
 出席率100%・スマイル7,500円(累計27,500円)
- 11/23土 YMCA中学生英語スピーチコンテスト@起雲閣  
 三島市より8名参加
- 11/27水 三島市教育長・教育委員会へ大村メネットよりYMCAスピーチコンテストについて報告

今後のスケジュール

<今後の予定>

- 12/03火 19:00~ 第6回役員会@大村様邸
- 12/05木 18:30~ YMCA合同会議
- 12/17火 18:30~ 12月例会@松韻
- 12/18水 18:30~ 熱海グロリークラブ12月例会(渡邊会長・日吉・相川)
- 12/19木 10:00~ 市民すこやかふれあいまつり実行委員会(岡田)
- 12/25水 12:00前 恵明学園クリスマスケーキ届け(渡邊会長・福田CS委員長)
- 01/07火 18:30~ 1月度役員会・新年会(永塚)
- 01/21火 18:30~ 3クラブ合同新年例会@松韻
- 01/25土 第二回富士山部役員会・評議会(予定・案内未)

協議事項

- ☆会長・書記 渡邊会長・相川書記
- (報告)特になし
- ☆会計 石川会計
- (報告)会計口座 口座は今までと変更ありません
- 三島信用金庫 三島北支店  
 普通預金 1246706 三島ワイズメンズクラブ

委員会報告

- 【CS・BF】 福田委員長
- (報告)恵明学園クリスマスケーキの寄付の件  
 ○25日昼前にクリスマスケーキを届け(渡邊会長・福田CS委員長)  
 ○兎月園 5ホール程度か。数は恵明と打合せ中  
 ○予算内に収まる事から、今期はスタッフの分まで含める  
 ○届ける時に、恵明側に来年以降は子どもの分が精一杯で、それ以上となると対応できなくなる可能性もあることを伝える
- 【EMC・YMCA】 大村委員長
- (報告)なし
- (予定)12/05 YMCA合同会議
- 【プロドラ】 岡田委員長
- (報告)11月 三島クラブ例会@松韻

- <出席者 10名>
- メンバー 渡邊・福田・石川・岡田・相川・大村・日吉 7名
- メネット 大村知子メネット 1名
- ゲスト 三島市三島駅周辺整備推進課 江塚課長様・前田様
- 卓話「三島駅南口東街区再開発事業について」
- 出席率 100%
- スマイル 7,500円(累計27,500円)
- (協議)12月例会について(別紙プログラム参照)
- 例会の役割
- 受付:大村・司会:石川・開会:岡田・食前:福田・閉会:相川
- 卓話
- なし (おしゃべり会)
- (協議)2025年1月3クラブ合同新年例会 富士山部長公式訪問
- 日 時 1月21日(火)18:30~

- 場 所 松韻(予約済み)
- 卓 話 三島クラブ特別公演 落語 笑福亭羽光 氏
- 卓話料 50,000円(3クラブより、10,000円負担・残りは三島対応)
- 登録費 5,000円
- 食事代 4,400円 + 指定数のお酒
- プログラムについて 三島クラブ特別公演を先行しその後例会
- 公演は40分
- 会費納入月
- 【親睦・DBC】 日吉委員長
- (報告)誕生日・結婚記念日
- 12月誕生日 4日 相川・11日 渡邊P
- 12月結婚記念日 なし
- 1月誕生日 9日 福田P・ 14日 福田
- (協議)京都クラブとの親睦会について
- 打合せ継続中
- 【会報・広報】 石川委員長
- (議題)12月ブリテン原稿依頼(13日金曜日 21:00厳守)
- 11月例会報告 日吉 (済)
- CS花壇花植 相川
- コラム くまもん通信12月号 光永様
- メネットコラム 大村メネット(済)
- その他 福田(三島の水について)
- 【メネット】
- 特に有りません。



在籍者	7名	メネット	1名	スマイル	7,500円
出席者	7名	パートナー	0名	スマイル累計	27,500円
出席率	100%	ゲスト	2名	古切手	0g
メーキャップ	0名	ビジター	0名	古切手累計	642g
修正出席率	100%	総出席数	10名		

三島ワイズメンズクラブ 2024年12月号ブリテン

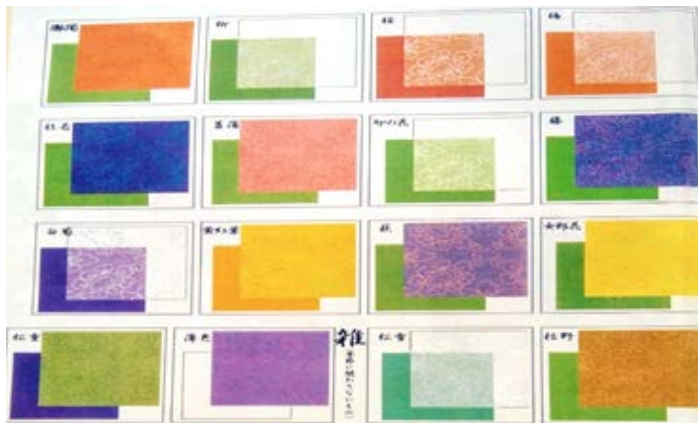
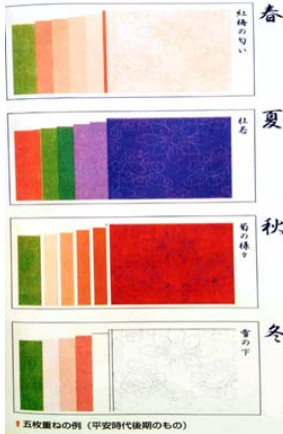
<発行:会報・広報委員会(石川敏也・相川 毅)>掲載内容に関することは☎090-3566-6494(石川)まで、気軽にお問い合わせください。

メネット 大村 知子

令和6年のNHK大河ドラマ「光る君へ」も最終章になり、視聴されている方は平安貴族の服装も見慣れたことと思います。ドラマの女優さん達の衣装について尋ねられる機会があり、60年余りぶりに学生時代の日本服飾史のノートを見直し、復刻した源氏物語絵巻のカatalogを書棚から探し出し改めて眺めてみました。被服学専攻と言っても私は体型や着脱の動作性などの研究分野でしたから服飾史は基礎知識程度ですが、日本服飾史の研究者だった増田美子さん(同級生で故人)は『「重ね色目」は貴族の教養』と書いています。

平安中期以降、服飾文化が熟成し貴族の女性たちが身につけていたのはゆったりした衣装の重ね着が特徴で「唐衣裳装束(からぎぬもしょうぞく)」は一番下の「単(ひとえ)」に「袷(うちぎ)」を何枚も重ねました。数が多いことを表す12枚もの「袷」を重ねたことで「十二単」と言われ、現在でも皇室の儀式では着用されます。「袷」は「袷(あわせ)」が多く表地とわずかにのぞく裏地のとの配色に四季折々の風情を表現する「重ね色目」には教養がにじみ出たとされます。貴重な布ですから女性の実家の財力も関係したと思われる。「重ね色目」には季節によせて名前が付けられ紅梅重ね、桜重ね。卯の花重ね、菊重ねなどが代表的です(図参照)。柳、牡丹、杜若、菖蒲、藤、花橘、紅葉、萩、女郎花、紫苑、松、雪ノ下などの名称の配色も知られ、それぞれ裏と表の色を組み合わせる時にはグラデーションしたりして美的表現をしたので、おのずから個性やセンスや教養が可視化され、その配色表現が評価されたといえます。

ドイツの哲学者のロッシェは「衣はヒトなり」と言い、詩人としても知られるヘルマン・ヘッセは「衣服は第2の言語なり」と言っているように着ている装束によって無言のうちに自分を語っていると思います。併せて寒暖が変化する四季が移ろう我が国の自然現象を風情として、平安貴族は着る人自身も装うことを楽しんだのではないかと考えます。最近は気候変動の影響も関係するのか「衣替え」も曖昧になっていますが、四季感のある色や素材などの服装によって素敵だなと装着している人に好印象をもつことやその装い方に品性を感じることもあると思います。



表と裏の重ね 春夏秋冬

ワイズメンズクラブの皆様、朗報です。くまモン隊長こと、光永尚生ワイズは、ついに減量に成功し、16kgマイナス街道をばく進中。現在、103万円の壁、ならぬマイナス20kgの壁を目指して、日々精進しております。この決意は、妻の叱咤激励と共にあり、わずかでも、隠れて飲酒したり、午後8時の時報後に、飲食でもするならば、たちまち、叱責の嵐が訪れる予報となっております。

去る、2024年10月22日に入院し、翌日に右膝の人工関節置換術の手術を受け、30針にも及ぶ痕跡は、見るものの涙を誘います。入院中は、妻のバッシングに耐え、4つの法人業務の為に個室での会議に3週目から参加し、差額ベッド大金を支払い毎日励んでおりました。1日、1,800kcalのエネルギーコントロール食事は、朝7:30、昼12:00、夜18:00の定時に食していましたが、正味3分もあれば間食できる量でした。入院期間は、ジャスト5週間でしたが、本来の6～8週間には遠く及ばず、退院後のクリスマスまでのアドベント期間は、ひたすら、毎朝の入浴とマッサージ、強制的な妻とのNHKラジオ体操、週一のリハビリの時間を刻んでおります。それでも、膝の張は治り切れず、杖を友として、階段の上り下り、トイレでの立ち上がり、歩行時の躓きなど、いくつもの注意関門点をクリアして日々を過ごしております。

痩せた原因は、日々のカロリーコントロール。期間中、無糖の炭酸水以外は、まったく間食せずに過ごした事。毎日の3時間程度のリハビリでのマッサージ、ストレッチ、有酸素運動と筋トレという過酷な組み合わせによる肉体への刺激。そして何よりも、痩せてきたという、「歓喜の時」を夢見てきたことが最大の成果でした。

後日談ですが、退院翌日は、当然のように、退院祝いを期待し、自宅に数週間ぶりに戻ったら、隣人がたまたま天草で釣ってきたタイを刺身にして差し入れてくださり、妻からは、さも、退院祝いと言わんばかりに振る舞われ、複雑な心境となりました。いつもの食事にタイの刺身は追加してあったものの、ひじき、海藻、野菜などが主菜となっており、「私の主菜たちよ。どこへ行ったのですか?」と言わんばかりの不満顔ではなかったかと心配でした。

それ以来、毎朝のラジオ体操から始まり、朝風呂+マッサージ、朝食と弁当持参、夜は20:00以前までしか食べられない食事の生活を続け、ダンディな日々を夢見ております。

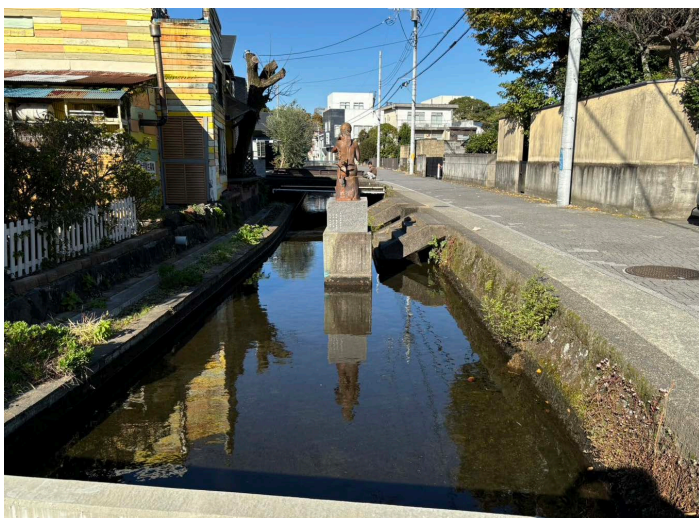
なお、夜の外食と、飲食は、基本的には参加してもノンアルのみですし、三島クラブからのオファーがあっても、要件等の為悪しからず。皆さんには、私の「減量体験記=成功体験」をお読みいただきありがとうございます。では皆さまに、メリークリスマス。



暑かった夏がようやく過ぎ、ちょっと肌寒い感じがする11月14日15:00から昨年の岡田会長年度から始めた、かわせみトンネル花壇の花植に参加をしました。

最初に職員から簡単な説明と、植え方を指導いただき、早速活動が始まりました。用意されたビオラ等の花を参加したメンバーで植え始めましたが、三島市の準備が丁寧なこともあり、土が大変柔らかく、スコップが簡単に入りテキパキと作業進み15分程度ですべての花を植えることができました。

終了後参加者全員で写真撮影、お土産に花を2ヶ頂きました。短い時間の活動ではありますが、付近を通る時にきっときれいな花々が心を癒やしてくれることと思います！今後も続けていきたい活動の一つです。お疲れ様でした。(渡邊会長・大村・日吉・相川・大村メネット)



三島は古くから「水の都」と言われています。富士山麓に降った雪は溶けて地下水となり、三島では楽寿園の小浜池、浅間神社、菰池、白滝公園、清水町の柿田川などから大量に湧出しています。

かつて、夏は道路まで溢れる湧水の中泳ぐ子供達、5月の夜は群れ舞うホタル、初冬の風のない朝は暖かい湧水からたちのぼる朝霧で1メートル先も見えない市街地。いつでもどこでも聞こえていた小さなせせらぎの音。2~3メートルも掘れば湧き出る井戸の水。洗濯も川ばたでおかあさんたちが集まってが日常風景でした。

身近にあった湧水、清らかな水が姿を消し始めたのは今から60年ほど前、昭和30年代中頃のことでした。三島駅の北に大工場が操業を始めると市街地の井戸があらかた枯れてしまい、小浜池の水も減っていきます。その後の高度成長期に三島市の北部、長泉町、裾野市などに次々と工場や施設が建ち、富士山麓の地下水を利用して、冷房、冷却、洗浄、飲料生産などがはじまりました。あれほど多かった三島の湧水 はどんどん枯れていき、小浜池は水がない枯山水とよばれるようになり、清流が流れていた源兵衛川、桜川、御殿川などは水が少ないため流れずにドブ川ようになっていきました。

綺麗な水はいつでもあるもの、と思っていた三島の住民は慌て、嘆き、そして考えます。「どうしたら昔のように綺麗な川に戻せるのだろう」ある医師は家の横を流れる源兵衛川の水量をはかりはじめます。青年会議所のメンバーは炭を桜川に入れて水の浄化を試みました。ある女性は家の深井戸の水を利用してホタルの繁殖を始めます。三島市も県や国の補助金を活用して、源兵衛川や桜川の護岸整備をはじめます。地域住民による川を守る会ができ、定期的な河川清掃がはじまりました。昭和50年代には5月に三島市全住民が参加する河川の一斉清掃がはじまります。三島の川を考える会、三島ゆうすい会、グラウンドワーク三島、など水問題を考え、解決しようと市民団体も活動をはじめました。

そして、「街中がせせらぎ事業」が動きはじめました。今から25年前に実施されたこの事業は今の三島の景観の基となっているものです。(つづく)

※写真は左下が宮さんの川、下が源兵衛川です。

